

○株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場）
公 告 の 方 法	電子公告により行う

[公告掲載 URL]
<https://www.hayashikane.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210 FAX(083)266-1266



この報告書は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用
して印刷しています。

ホームページのご案内



林兼産業株式会社 Topページ
<https://www.hayashikane.co.jp/>



林兼産業株式会社 IR情報ページ
<https://www.hayashikane.co.jp/ir/>

With you

株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

第86期



Index

業績サマリー	01
社長から皆さまへ	02
セグメント概況	03
インフォメーション	04
トピックス	06
財務諸表（要約）	07
会社概要	09



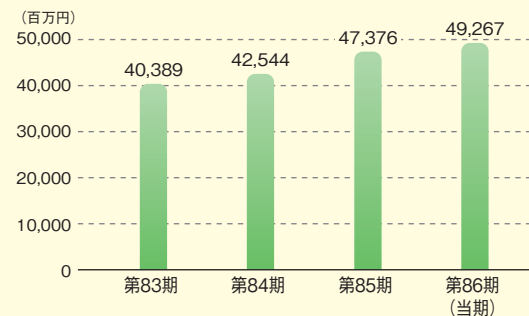
証券コード 2286

業績サマリー

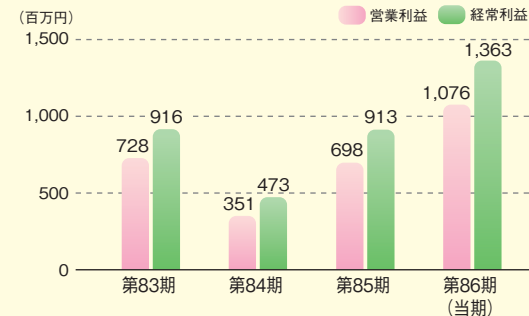
財務ハイライト

	第85期	第86期	前期比増減
連 結 売 上 高	47,376百万円	49,267百万円	4.0%
連 結 営 業 利 益	698百万円	1,076百万円	54.1%
連 結 経 常 利 益	913百万円	1,363百万円	49.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	749百万円	1,055百万円	40.9%

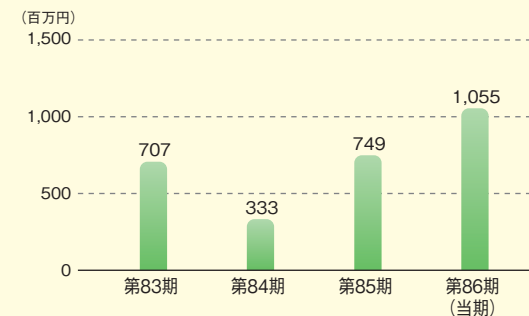
○連結売上高



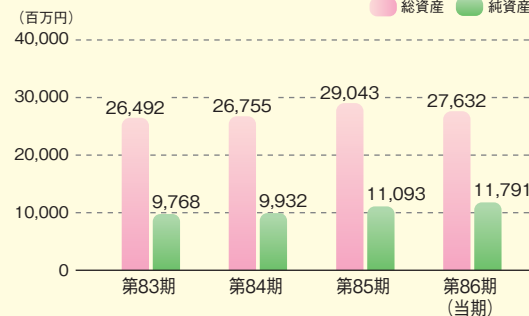
○連結営業利益 / 経常利益



○親会社株主に帰属する当期純利益



○連結総資産 / 純資産



社長から皆さまへ

株主の皆さまに第86期株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日ごろのご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度の売上高は、原材料価格やエネルギーコストの高騰に対応するために行った価格改定や、養魚用飼料の販売数量増加などにより492億67百万円(前期比4.0%増加)となりました。損益面におきましては、養魚用飼料の販売数量が増加したことなどにより、営業利益は10億76百万円(前期比54.1%増加)、経常利益は13億63百万円(前期比49.3%増加)、また、政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益もあり、親会社株主に帰属する当期純利益は10億55百万円(前期比40.9%増加)となりました。

経営計画

当社グループは、中期経営計画『Challenge2026』を策定し、持続的成長と企業価値向上に向けた経営基盤の強化に取り組んでおります。また、中期経営計画『Challenge2026』の中で、新たにパーパスおよびコーポレートスローガンを決めました。パーパスでは「生きる力」を育む食品を通じて、誰もが幸せに生きられ

る未来の実現を掲げ、コーポレートスローガンを「おいしさを、生きるちからに。」と定め、当社の目指すべき長期的な方向性を明確に示しました。

中期経営計画の初年度にあたる当連結会計年度は、飼料の海外輸出拡大や、原材料およびエネルギーコストの上昇に対応した価格改定の実施により、売上高および利益面で計画を上回る実績を残すことができました。

今後も資本コストを意識した経営と、収益構造の見直しや生産体制・設備の最適化、安定的な株主還元、成長投資を通じて構造改革を着実に進めてまいります。

あわせて、DXの推進やESGの視点を経営に取り入れ、SDGsの実践、カーボンニュートラル推進、人的資本施策、動物飼養管理など、サステナビリティ経営を進めてまいります。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

取締役社長
中部 哲二

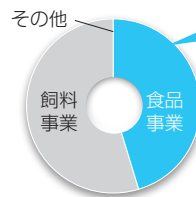


※「中期経営計画Challenge2026」の詳細につきましては、当社ホームページ「中期経営計画」をご参照ください。
[<https://www.hayashikane.co.jp/ir/managementplan/>]

セグメント概況

〔食品事業〕

○セグメント売上高



223億99百万円

前期比 0.7% 減

セグメント利益 4億63百万円

前期比 42.3% 減

機能性素材は、エラスチンの国内向け販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

加工食品は、魚肉ねり製品の国内向け販売数量は増加したものの海外向け販売数量の減少などもあり、減収となりました。

肉類は、収益性を重視した取引に努め、販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は223億99百万円(前期比0.7%減少)となりました。損益面は、「霧島黒豚」の農場肥育成績悪化とそれに伴う食肉販売数量の減少等により、セグメント利益(営業利益)は4億63百万円(前期比42.3%減少)となりました。



〔飼料事業〕

○セグメント売上高



268億30百万円

前期比 8.3% 増

セグメント利益 16億61百万円

前期比 77.1% 増

配合飼料は、養魚用飼料の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

水産物は、相場が低調に推移したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は268億30百万円(前期比8.3%増加)となりました。損益面は、養魚用飼料の販売数量増加および生産効率改善等により、セグメント利益(営業利益)は16億61百万円(前期比77.1%増加)となりました。



マグロ用配合飼料「ツナフード」

インフォメーション

霧島黒豚®は農場から食卓まで 管理された安全・安心のブランド



確かなブランド、
それが霧島黒豚®

～農場から食卓へ～

霧島山麓の大自然の中、自社グループ農場キリシマドリームファームで愛情豊かに肥育されるイギリス系バークシャー種の「霧島黒豚®」。きめ細かい肉質と良質の脂肪が特徴で、旨みと甘みのある美味しい黒豚に仕上げました。



霧島黒豚ハム・ソーセージ



霧島黒豚煮込みハンバーグ

都城市へ企業版ふるさと納税寄附

あまい脂肪と旨味の肉質が特徴の霧島黒豚は、自然豊かな都城で育成から加工まで一貫しておこなっております。また、都城市のふるさと納税返礼品にも採用していただき高評価を得ています。

この度縁深い都城市へ企業版ふるさと納税を寄附いたしました。今後も、日本の畜産業の振興を支え、「食」を通じてすべての人が幸せに生きられる社会をつくるべく邁進してまいります。

※企業版ふるさと納税とは、企業による地方創生を支援する制度で、国の認定した地方創生のプロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に、寄附額の最大9割が法人税等から控除される制度です。



▲ 左から) 中部社長、池田都城市長、三代専務



Lineup

やわらかくて食べやすいおかずセット
毎日のごはんがらくらく、
あたためるだけで
すぐに提供いただけます。

01
Menu
豚肉の生姜焼き
・豚肉の生姜焼き
・ほうれん草と鮭の中華和え
・里芋田楽

02
Menu
ガーリックポークステーキ
・ガーリックポークステーキ
・ミネストローネ風
・ブロッコリーサラダ

03
Menu
白身魚の甘酢あんかけ
・白身魚の甘酢あんかけ
・蓮根金平
・カリフラワー白シソみそ煮

04
Menu
白身魚のチリソース
・白身魚のチリソース
・ミニおでん
・ブロッコリー中華和え

05
Menu
白身魚の天ぷら
・白身魚の天ぷら
・肉団子甘酢あんかけ
・ごぼうサラダ

06
Menu
魚の西京焼き
・魚の西京焼き
・炊き合わせ
・ほうれん草ポキ酢和え

07
Menu
魚の中華あんかけ
・魚の中華あんかけ
・麻婆蓮根
・カリフラワー梅和え

お召し上がり方

1 電子レンジ調理の場合
①冷蔵庫で約6時間または電子レンジの解凍機能を用いて完全解凍する
②袋の端に2cm程切り目を入れ、500～600Wで1分程度温める
※オート機能は使用しないでください

2 スチコン調理の場合
袋の端に2cm程切り目を入れ、スチームモード100℃で35分程度温める

外箱

配食容器として

レンジ×
冷凍×

洗って繰り返し使える容器



トピックス

働き方改革 オフィスフリーアドレス化

下関市の本社では、部署や役職の壁を超えたコミュニケーションの促進を図り、チームワークの強化や生産性の向上を目指して、オフィスフロアのフリーアドレス化に取り組みました。

さらに、通信機器の無線化やTV会議席などICT(情報通信技術)を導入することで、デジタル面での働き方改善、ペーパーレスなどの効率化を進めております。

より自由でフレキシブルな働き方が可能となりました。



「くるみん認定」を取得

当社は、2025年5月、「くるみん認定」を取得しました。「くるみん認定」とは、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、行動計画に定めた目標を達成するなど一定の基準を満たした企業を子育てサポート企業として厚生労働大臣が認定する制度です。

当社では、月1回のノー残業DAYの実施や養育する子が小学校6年生まで育児短時間勤務をすることができます。

今後も、ライフステージに応じた多様で柔軟な働き方を自律的に選択し、活躍し続けられる職場環境整備と風土醸成のため取り組んでまいります。



男性育休の充実

2022年、男性も子育てをしやすい社会の実現に向けて育児介護休業法が改正され、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しました。

当社におきましても、2022年10月に産後パパ育休(出生時育児休業)制度を新設し、2024年度までの男性の育児休業取得率は31.6%でした。

男性育休取得人数	
2022年度	2名
2023年度	0名
2024年度	4名
合計取得率	31.6%

財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	15,666	15,325
固定資産	13,377	12,307
有形固定資産	8,217	6,877
無形固定資産	102	453
投資その他の資産	5,058	4,976
資産合計	29,043	27,632
負債の部		
流動負債	12,878	10,665
固定負債	5,072	5,175
負債合計	17,950	15,841
純資産の部		
株主資本	9,585	10,424
資本金	3,415	3,415
資本剰余金	2	2
利益剰余金	6,327	7,252
自己株式	△159	△246
その他の包括利益累計額	1,508	1,367
その他有価証券評価差額金	1,499	1,366
繰延ヘッジ損益	△0	△2
退職給付に係る調整累計額	9	2
純資産合計	11,093	11,791
負債純資産合計	29,043	27,632

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)
売上高	47,376	49,267
売上原価	42,176	43,605
売上総利益	5,199	5,662
販売費及び一般管理費	4,501	4,586
営業利益	698	1,076
営業外収益	346	414
営業外費用	131	126
経常利益	913	1,363
特別利益	252	437
特別損失	127	139
税金等調整前当期純利益	1,039	1,662
法人税、住民税及び事業税	327	625
法人税等調整額	△37	△19
当期純利益	749	1,055
親会社株主に帰属する 当期純利益	749	1,055

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	1,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399	885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,241	△1,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,939	644
現金及び現金同等物の期首残高	562	2,501
現金及び現金同等物の期末残高	2,501	3,146

連結株主資本等変動計算書(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資 本 金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計	
当 期 首 残 高	3,415	2	6,327	△159	9,585	1,499	△0	9	1,508	11,093
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△129		△129					△129
親会社株主に帰属 する当期純利益			1,055		1,055					1,055
自己株式の取得				△97	△97					△97
自己株式の処分		△1		11	10					10
自己株式処分差損の振替		1	△1		－					－
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					－	△132	△1	△6	△140	△140
当 期 変 動 額 合 計	－	－	925	△86	839	△132	△1	△6	△140	698
当 期 末 残 高	3,415	2	7,252	△246	10,424	1,366	△2	2	1,367	11,791

個別貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	15,094	15,111
固定資産	11,517	9,929
有形固定資産	6,489	4,989
無形固定資産	95	213
投資その他の資産	4,932	4,726
資産合計	26,612	25,040
負債の部		
流動負債	13,095	10,701
固定負債	3,794	3,677
負債合計	16,890	14,378
純資産の部		
株主資本	8,268	9,342
資本金	3,415	3,415
利益剰余金	5,012	6,174
自己株式	△159	△246
評価・換算差額等	1,454	1,318
その他有価証券評価差額金	1,454	1,320
繰延ヘッジ損益	△0	△2
純資産合計	9,722	10,661
負債純資産合計	26,612	25,040

個別損益計算書

(単位:百万円)

科目	前事業年度 (自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月 1 日 至 2025年3月31日)
売上高	48,771	50,048
売上原価	44,123	44,861
売上総利益	4,647	5,186
販売費及び一般管理費	4,033	4,134
営業利益	614	1,052
営業外収益	300	434
営業外費用	145	150
経常利益	769	1,336
特別利益	246	437
特別損失	123	1
税引前当期純利益	892	1,772
法人税、住民税及び事業税	243	553
法人税等調整額	13	△72
当期純利益	636	1,291

会社概要

会社概要

設立年月日 1941年1月15日
資本金 3,415,020,145円
本店 山口県下関市大和町二丁目4番8号
〒750-8608 TEL(083)266-0210

沿革

1941年1月 山口県合同缶詰(株)を設立
1947年6月 山口県缶詰(株)に社名を変更
1950年10月 日新缶詰(株)に社名を変更
1952年4月 下関飼料工場を建設
1955年1月 林兼産業(株)を合併し新社名を林兼産業(株)に変更
1959年8月 下関工場を建設
1962年5月 下関飼料工場を増設
1962年5月 株式を東京証券取引所に上場
1964年12月 本社社屋および研究棟を建設
1968年5月 下関第二工場を建設
1969年4月 林兼畜産(株)を設立、養鶏・養豚事業を同社へ移管
1970年6月 都城工場を増設
1976年2月 林兼冷蔵(株)を設立
1986年11月 林兼ポートリー(株)(現 キリシマドリームファーム(株))を設立し、林兼畜産(株)の事業を同社へ移管
1988年9月 林兼冷蔵(株)第二冷凍工場を建設
1991年7月 (有)平安海産を設立
1993年3月 長府工場を建設
1996年12月 林兼フーズ(株)を設立
2006年10月 都城ウエルネスミート(株)を設立
2009年3月 (有)桜林養鰻を子会社化
2020年11月 コーポレートロゴを変更
2021年12月 太宰物産(株)を子会社化
2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場へ移行

本社・事業所等

本社／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0210
経営管理本部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
総務部 TEL(083)266-0210
総合企画室 TEL(083)266-0212
経理部 TEL(083)266-0214
品質保証部 TEL(083)266-0215
内部統制室／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)267-0347
事業統括本部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
食品事業部／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
下関工場／〒750-8608 山口県下関市大和町二丁目4番8号
TEL(083)266-0221
都城工場／〒885-0021 宮崎県都城市平江町40号1番
TEL(0986)23-1450
東京支社／〒103-0004 東京都中央区東日本橋三丁目10番14号 サンライズ橘2F
TEL(03)5640-1651
大阪支社／〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町三丁目4番7号 第一住建御堂筋本町ビル7F
TEL(06)7660-2164
飼料事業部／〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
TEL(083)267-9125
下関飼料工場／〒750-8517 山口県下関市東大和町二丁目10番3号
TEL(083)267-9125
長府工場／〒752-0927 山口県下関市長府扇町13番33号
TEL(083)248-5423
アグアメディカルラボ／〒759-6316 山口県下関市豊浦町室津下字東768番地-1号
TEL(083)774-4061

役員一覧

2025年6月25日現在

取締役社長 (代表取締役)	中部哲二
専務取締役 事業統括本部長 兼飼料事業部長	三代健造
取締役 事業統括本部長 食品事業部長	戸倉信一
取締役 経営管理本部長	中嶋一貴
取締役 事業統括本部長 食品事業部副事業部長	安部克彦
取締役 経営管理本部副本部長	鈴田修士
取締役 (社外・独立)	田中姿子
取締役 監査等委員 (社外・独立)	岩村修二
取締役 監査等委員 (社外・独立)	山尾哲之
取締役 監査等委員 (社外)	三田村知尋
取締役 監査等委員 (社外・常勤)	伊勢崎俊博

株式の状況

2025年3月31日現在

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,910,000株
単元株式数 100株
株主数 5,957名
(前期末比271名増)

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人中部財団	786	9.30
マルハニチロ株式会社	565	6.69
株式会社恵比須商会	426	5.04
株式会社松岡	360	4.26
日本生命保険相互会社	255	3.01
中部哲二	254	3.01
株式会社十八親和銀行	253	2.99
損害保険ジャパン株式会社	198	2.35
株式会社山口銀行	157	1.86
株式会社西京銀行	148	1.75

(注) 当社は、自己株式461,596株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況

【株主数比率】

